

施設名称	[49-55]	台東リバーサイドスポーツセンター				
指定管理者の名称	公益財団法人台東区芸術文化財団			指定期間	H25.4.1 ~ H30.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2)類似施設の管理実績	朝倉彫塑館、下町風俗資料館、一葉記念館、旧東京音楽学校奏楽堂、書道博物館					
(3)経営状況	H25年度 収入計 594,869,211円、支出計 542,987,540円 収支差額 51,881,811円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区今戸一丁目1番10号					
(2)設置目的	区民の生涯スポーツ及びレクリエーションの振興並びに児童、生徒の体位及び体力の向上を図り、もって心身の健全な発達に寄与する。					
(3)利用者	区内在住・在勤・在学の方					
(4)開館日・時間	月曜日（第一月曜日は開館）・年末年始を除く毎日9：00～22：00 （陸上競技場・少年野球場は9：00～17：00）					
(5)規模	延床面積（体育館：11,939.34㎡、陸上競技場：3,073㎡） 敷地面積（陸上競技場：10,560㎡、野球場：14,476.96㎡、庭球場：3,528㎡、水泳場：3,540㎡、少年野球場：5,087.5㎡）					
(6)人員体制	14名 所長（1）、副所長（1）事務職員（12）					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	管理運営、総合体育館個人開放、初心者スポーツ教室					
(2)自主事業	硬式テニス教室、桜橋・わんぱくトライアスロン、区民ドッジボール大会、初心者ゴルフ教室					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	202,835,000	237,567,000	211,223,000	208,716,000	195,641,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	202,835,000	237,567,000	211,223,000	208,716,000	195,641,000
決算	委託料	158,399,962	191,438,853	172,758,753	191,206,655	187,518,572
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	158,399,962	191,438,853	172,758,753	191,206,655	187,518,572
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
開館日数		日	323	324	325	324
初心者スポーツ教室講座数		講座	11	7	11	11
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 （27年度）	23年度	24年度	25年度
利用者数		人	450,000	370,144	442,092	440,223

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み

テニス教室の受講料の口座振込に対応するなど、利用者からのご意見をもとにサービスの向上に取り組んだ。また、投書箱に寄せられた要望や意見を、適宜、事業や施設の運営改善に活用している。また、区のスポーツ振興の拠点施設として、国民体育大会フェンシング大会の開催に積極的に協力した。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[2]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.1]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[3]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数の目標達成	[2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	台東区の中核スポーツ施設としての役割をふまえ、適切な運営とサービスの提供に努めている。また、国民体育大会フェンシング大会の開催に対し、積極的に協力した。
(2)施設の維持管理	A	軽微な修繕については協定に即し、管理運営経費での対応を行っており、適切に維持管理を行っている。また、必要な照度を確保しつつ照明の間引きを行うなど、環境配慮にも取り組んでいる。
(3)利用者の満足度	A	初心者教室やテニス教室においてアンケートを行い、満足度を計るとともに、事業改善の参考にしていく。25年度はテニス教室の受講料の口座振込に対応するなど、サービスの向上に取り組んだ。また、投書箱に寄せられた要望・意見に対しても適宜対応している。
(4)収入支出	A	国民体育大会フェンシング大会や選挙（3回）の会場として利用される等により、昨年度に比べ貸切件数が減じたが、個人利用件数の増加に努め収入を確保した。また、支出についても、適切な運用にて適正な水準となっている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	協定書に基づいた事業運営や施設管理に加え、アンケート結果を踏まえた事業改善が行われている。また、国民体育大会フェンシング大会の開催に対し積極的に協力するとともに、個人利用の増加に努め、区のスポーツ振興の拠点施設としての役割を果たしている。
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応

今後の更なるスポーツ振興のため、区のスポーツ振興の拠点施設として、関係スポーツ団体や地域との連携・協働のもと充実を図っていく。また、より利用しやすい施設をめざし、適切に利用者ニーズ把握するとともに、業務改善に努める。